



プレスリリース: 2016年06月16日
トピック: サーバーストレージ/ネットワーク

業界最大容量SSDリリースにより、フラッシュファースト時代を牽引

- Docker連携・データ保護ソリューション強化により、オールフラッシュデータセンターは更に加速 -

2016年6月16日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長執行役員:吉田 仁志、以下 日本ヒューレット・パッカード)は、本日、普及が進むオールフラッシュデータセンターの活用を効率化する最新のストレージソリューションを発表します。これは「HPE 3PAR StoreServ」フラッシュポर्टフォリオの最新版で、世界最高の拡張性と容量密度を実現するシングルシステムのフラッシュソリューション(*1)、コンテナ向け永続的ストレージ、フラッシュに最適化データ保護機能強化、ユニファイドストレージ機能強化から構成されます。

データは現在、デジタル変革の中心的要素となっています。こうしたデータの保存、分析および保護の方法を進化させることは、ユーザーにとって大きな優位性になると考えられます。そのため、顧客は記録的なスピードでフラッシュへの移行を進めつつ、ソフトウェアデファインドストレージの選択肢も探求しています。

ヒューレット パッカード エンタープライズ (HPE) の一貫した戦略はこれまで、オールフラッシュに最適化されたストレージシステムと、様々なフォームファクタのデータファブリックとして導入される、ソフトウェアデファインドストレージのシンプル化を実現してきました。HPEは、主要ベンダーの中で唯一、過去2年間継続的にシェアを拡大しているという形で評価を獲得しています(*2)。2016年度第一四半期にはストレージ製品全般において、HPEのシェアはトップになりました。(*3) 今回の新ソリューションにより、オールフラッシュデータセンターの分野におけるHPEのリードと、将来への明確な道のりを示しています。

ヒューレット パッカード エンタープライズのストレージ担当シニアバイスプレジデント 兼 ジェネラルマネージャーであるマニッシュ・ゴエル (Manish Goel) は、次のように述べています。「ストレージ専門ベンダーの時代は終わりました。ハイブリッドインフラには、既存アプリケーションにもクラウドネイティブアプリケーションにも対応できるストレージだけでなく、全てのITスタックが求められます。それができるのはHPEだけです。」

〈オールフラッシュの密度を16倍向上、データセンターコストを圧縮〉

オールフラッシュストレージにより、多くのお客様がビジネスの変革を実現しています。スピード、低コスト化、およびエンタープライズクラスのデータサービスに対するHPEの取り組みにより、オールフラッシュアレイの「3PAR」ファミリーは高い成長率、そしてオールフラッシュ市場全体では倍増となる成長を実現しています(*4)。

こうした成長を更に拡大するため、HPEは「3PAR StoreServ」ファミリー全体を通じ、7.68TBと15.36TBの新しい3D NANDソリッドステートドライブ(SSD)への対応を発表します。これにより、「HPE 3PAR StoreServ」は、業界最高の密度と拡張性を誇るオールフラッシュアレイとなり、シングルシステムで利用可能なSSD容量としては最大24PB(*4)に対応、同クラスの他社オールフラッシュシステムとの比較では12倍の高密度化を実現しています(*5)。2年前と比較して、「HPE 3PAR」のフラッシュ密度は16倍上昇し(*6)、ギガバイトあたりのコストは40%低くなっています(*7)。新規および既存のお客様は、異なる種類やサイズのSSDドライブを柔軟に組み合わせることができます。

こうした大容量SSDのサポートは、以下に挙げる2つの主要技術によって実現しています。1つめは、特許取得済みの3PAR技術である「3PAR Adaptive Sparring」により、パフォーマンスや復旧力を犠牲にすることなく、あらゆる規模のSSDを5倍の耐久性(*8)で利用できます。2つめは、「3PAR Express Layout」で、3PARストレージコントローラからSSDへの同時アクセスにより、スループットの向上を実現します。

〈ストレージのDocker統合で実現する、本番環境でのコンテナソリューション〉

コンテナ技術は、アプリケーションの開発とデプロイの柔軟性を高める新たなアプローチです。エンタープライズのお客様はDevOpsの手法を支持しており、高可用性の永続的ストレージの利用が、本番運用の要件であることが明らかとなっています。

こうした要件に応えるため、ClusterHQ社との協業を通じ、HPEはOpenStackの公式リリースの一環として、Docker-OpenStackドライバーを提供してきました。今回、「Docker-Integrated Volume Plugin for HPE 3PAR StoreServ Storage」を公式リリースします。Dockerエンジンと統合されたこのドライバーは、コンテナ向けの永続的ストレージを実現します。Dockerを使用した仮想化、またはベアメタルのコンテナ環境向けに、永続的ストレージとしてフラッシュに最適化された「HPE 3PAR StoreServ」アレイを使用できます。この統合機能により、コンテナ化されたアプリケーションは、永続的ストレージ機能だけでなく、データ暗号化、Quality of Service(QoS)、スナップショット、レプリケーション、重複排除等の機能を活用できます。

〈フラッシュに最適化されたデータ保護機能と統合データアクセスの強化〉

フラッシュの使用がデータセンター全体に広がる中、従来の手法を大きく超えるパフォーマンスや、強固なセキュリティを確保することが重要な要件となっています。

「HPE Recovery Manager Central(RMC)」は、従来型のバックアップテクノロジーと比べて、最大23倍のスピードで、アプリケーションスナップショットを「3PAR」フラッシュから、バックアップストレージに直接移動させることで、これを解決します(*9)。その結果、リスクが軽減されるだけでなく、「HPE StoreOnce」の優れた重複排除により、容量要件が95%以上軽減されます(*10)。HPEではまた、「HPE RMC」アプリケーション連携のエコシステムを強化し、Oracleデータベース、SAP HANA、3PAR File Personaに対応しました。既に提供中のVMware、Microsoft SQL向けアプリケーション連携データ保護機能に、新たなアプリケーションが加わるようになります。

「3PAR」は、業界で最も定評あるフラッシュプラットフォームの1つとして、統合型のファイル、ブロック、オブジェクトアクセスをサポートしていますが、これらに加えて、セキュリティ機能やアーカイブ機能により、統合データアクセスを強化します。

- 「3PAR File Persona」の機能拡充：ファイルロック機能により、データの一貫性を保護し、ガバナンスをサポートします。また、Windows環境のセキュリティを強化し、マルチプロトコル環境で、よりシームレスなグループファイル共有を提供します。
- 「HPE StoreEver Archive Manager」ソフトウェア：「3PAR」のファイルデータをテープにオフロードし、アーカイブします。データ保持コストを削減しつつ、あたかもオンライン状態であるかのような、透過的なデータアクセスを実現します。

HPEではまた、お客様のデータ管理とデータ保護ソリューションを包括的に支援するテクノロジーサポートとコンサルティングサービスを提供します。オールフラッシュストレージを含むソリューション全体を対象として、HPEフレキシブルキャパシティに対応し、即時にオンデマンド型でリソースをGB単価にて提供します。またHPEテクノロジーコンサルティングチームと連携して現状分析アドバイザーから設計、構築、データ移行までデータ保護を実現する移行支援サービスを行います。

〈本日発表の製品〉

製品名	希望小売価格(税抜)	販売開始日
HPE 3PAR StoreServ用7.68TB SSD	6,040,000円～	6月16日販売開始予定
HPE StoreEver Archive Managerソフトウェア	1,380,000円～	6月16日販売開始予定
HPE StoreOnce Recovery Manager Central v3.0	100,000円～	8月提供開始予定 (v2.0は販売中)

*1: 現在入手可能な公開情報に基づきます。(当社調べ)

*2: 2016年第1四半期「IDC WW Quarterly Disk Storage Systems Tracker for External Storage」(エントリー、ミッドレンジ、ハイエンドのフラッシュ、ハイブリッド、HDDストレージシステム)に基づきます。(「主要ストレージベンダー」は、市場シェア上位ベンダー6社を示します。)

*3: 2016年第1四半期「IDC WW Quarterly Disk Storage Systems Tracker for Total Storage Revenue growth (External, Internal and ODM storage systems)」において、売上高でEMCを抜いて1位になりました。

*4: 7.68TBSSDドライブでサポートされる最大容量に基づきます。

*5: SSD容量24PBのEMC VMAX 850シングルシステムと、2016年下半年時点でサポートされる、SSD使用可能容量24PB(圧縮比4:1を使用)の「HPE 3PAR 20850」との比較に基づきます。

*6: 2014年6月から2016年6月の期間に基づき、ラックユニットあたりの密度が、35TB/Uから563TB/U(15.36TB SSDドライブを使用)に上昇します。

*7: 2014年6月から2016年6月の期間に基づき、使用可能なGBあたりコストが、2米ドル(1.92TB SSDドライブと圧縮比4:1を使用)から1.2米ドル(7.68TBドライブと圧縮比4:1を使用)へと削減されます。

*8: 内部測定データによると、HPE 3PAR SSDのバーンアウト率は2016年6月以前は0.6%でしたが、最新のデータではAdaptive Sparing機能の強化により0.2%以下になると予測されます。

*9: 「HPE Recovery Manager Central」のバックアップ性能を、従来型のHPE以外のバックアップソフトウェアと同等の条件において比較した、HPEの社内試験に基づきます。(2016年5月実施)

*10: 重複排除をしない完全なデータを含むバックアップとの比較に基づきます。また、HPEが提供するGet Protected Guaranteeプログラムの規約に準じます。

■ ストレージ製品写真ライブラリ

<http://h50146.www5.hp.com/info/newsroom/library/hpe/storage/>

■ プレスルーム

<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター

TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)

ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>

